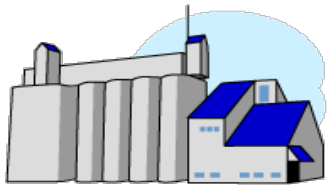


営農経済渉外

Farming information

営農情報

2017
8月号 No.60



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085



今月の話題

- ◆ 一等米低下の要因を探る ～出穂から収穫期～
- ◆ 農作業に潜む身体リスク ～夏から秋編～
- ◆ 農政ダイジェスト

農家所得増大
"コシヒカリプレミア88"
チャレンジ!

メモ

- ✓ 近畿地方 1か月天気予報
平均気温は、平年より高い傾向
降水量・日照時間はともに、
平年並か少ない予報

ほ場を見回り、米の品質低下
や病害虫発生に注意

- ✓ 土づくり資材 "田華の豊稲"
注文書8月末に配布予定

水管理
いもち病
カメムシ



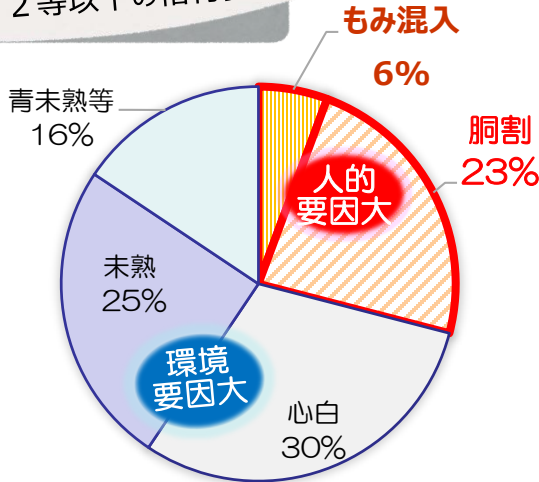
昨年につき、大豆播種の実習に出向きました。土の硬軟や排水など圃場条件の善し悪しによって、作業性が大きく変わることを実感しました。高温時期の作業になるので、なおさら少しの手間が大きなロスにつながります。

一等米低下の要因を探る ～出穂から収穫期～

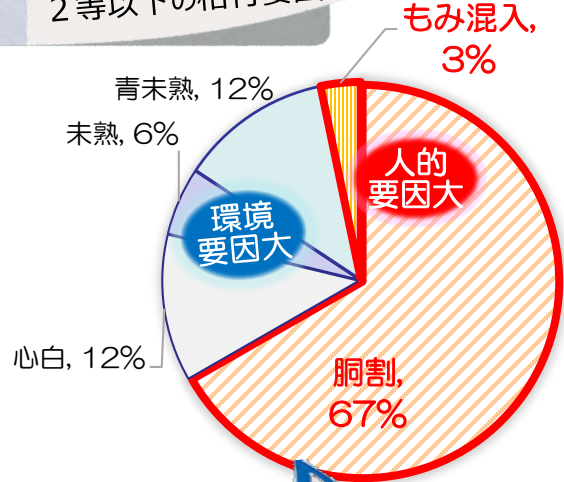
収穫が近くなってきましたが、品質・食味に大きく左右する要因は、8月の栽培管理にあります。
暑い時期となりますが収穫間近まで、ほ場を巡回し葉色・病虫害の発生・水管理等に注意して下さい。



H27年産米
2等以下の格付要因



H28年産米
2等以下の格付要因



人的要因は胴割粒・もみ混入
環境要因は心白粒

格付種類	要因
青未熟粒	籾数過多 登熟期の活力低下
心白粒	登熟初期の高温 日照不足 籾数過多
胴割粒	登熟初期の高温 早期落水 刈遅れ 乾燥調製不良
籾混入	機械設定 調整量 水分ムラ



収穫期編

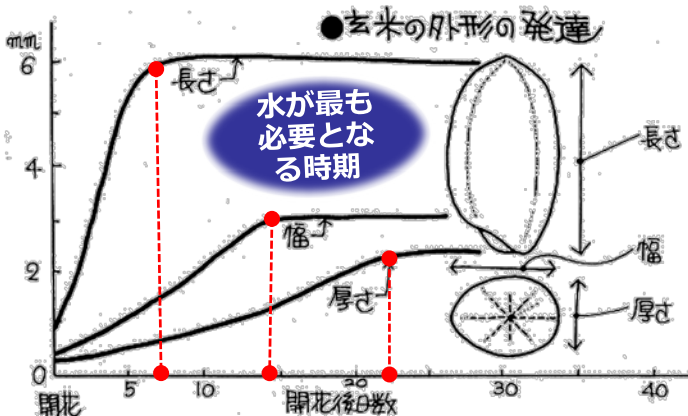
高品質・良食味生産心得帳

- その1 出穂後3週間の水管理
- その2 適期刈取り予測
- その3 コンバイン作業&乾燥作業

その1

出穂後3週間の水管理

米の長さ、幅は出穂後5日～15日頃までに決まり、最も水を必要とする時期です。米粒の厚さは、収穫間際まで、太り続けます。最後まで、“しっかり”と入水を！また、立毛中の胴割粒の発生も防止します。



湛水管理実施調査 啓発を継続実施中！

カドミウム吸収抑制対策として出穂後3週間の湛水管理の徹底をお願いします！

カドミウム吸収抑制対策
収穫後の土づくり資材の散布も忘れずに

8月中旬頃に注文書を配布予定です

その2

適期刈取り予測

稲は早刈りすると青米が増加し未熟粒が多くなります。一方、刈り遅れると、玄米の光沢が低下するばかりでなく、胴割れ米が発生しやすくなります。適期刈取りの収穫判断がカギとなります。

ポイント

① 収穫予測

出穂日から収穫日を予測し
収穫予定を立てましょう

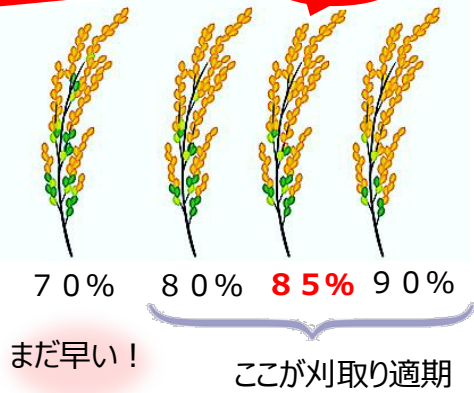


出穂後高温で推移した場合
最短で、出穂後約33日で収穫期を迎えます

※出穂期=ほ場の4割が出穂した時

ポイント

② 最終適期判断

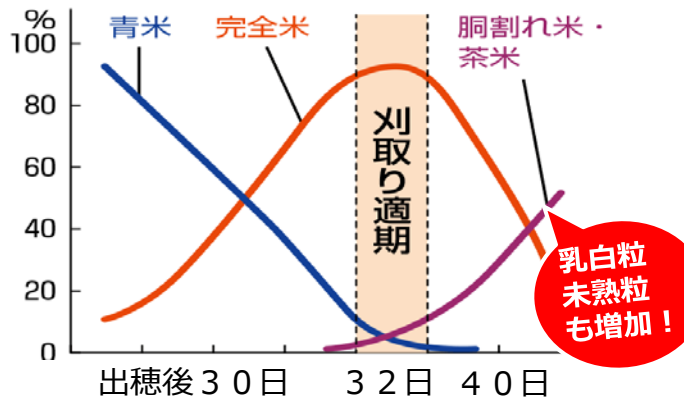


「収穫適期判定シート」を活用し圃場に入って穂を確認しましょう！

栽培手引きの裏表紙



刈遅れによる品質への影響



その3

コンバイン作業&乾燥作業

収穫以降の作業で品質低下を招く要因は多くあります。収穫作業・乾燥作業も最善の注意を払いましょう。

ポイント

① 収穫時

コンバイン収穫は低スピードで衝撃を抑制！

高スピードは衝撃により胴割粒発生作業は低速度で！



ポイント

② 乾燥作業

乾燥スピードの確認！

張り込み通風後水分25%
仕上げ水分14.5%の場合

乾燥時間は15時間以上必要
(25-14.5) / 0.7 = 15 (時間)

毎時乾減率0.8以下で！
乾減率が毎時0.8%を超えると
胴割れが増加します！！

ゆっくり乾燥で
胴割れ防止！

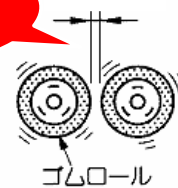
ポイント

③ 調製作業

粃すり作業時のゴムロールの締めすぎ注意！



調製&目視が肝心！



脱ぶ率を上げすぎると、胴割れしやすいものは砕けてしまうので、ロール間隙を適切に調整してください。

農作業に潜む身体リスク ～夏から秋編～

農作業には身体へのリスクになるものが多く潜んでいます。今回は、夏期から秋期にかけての農作業リスクについて考えます。



天候 (雷・極地的大雨)

夏は日中の強い日射によって、積乱雲が発生します。発達した積乱雲は、天気の急変をもたらし、雷を伴って短期間で狭い範囲に激しい雨を降らせます。



● 落雷 雷時は、建物や車に避難

- ✓ 圃場など開けた場所は危険
- ✓ まわりより高い場所に落ちやすい

● 側撃雷 木・電柱から4m以上離れる

- ✓ 木の幹や枝から雷にうたれる事も
- ✓ 木のそばキケン

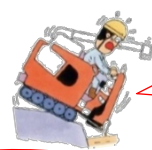


● 大雨 すぐに水辺から離れる・浸水場所に注意

- ✓ 上流に降った雨で、急に増水する可能性大
- ✓ 木枝等が流れてくる時はキケン

機械作業事故

「ワラ詰まり」を除去するとき、エンジンを止めずに作業し、腕、手、指を巻き込まれ、切り傷、挫傷事故が意外に多く発生しています。コンバインは、重心が高いため、畦畔を斜めに越えようとして側方転倒したり、運搬車への積み込み・積み降ろし時に、渡り板からの転落や挟まれる事故があります。



転倒転落には細心の注意

点検は必ずエンジンを止め、巻き込まれやすい服装は避ける



ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価(税込)606円 購読申込受付中～

規制改革実施計画を閣議決定

政府は規制改革実施計画を閣議決定し、JA全農の事業改革をはじめ、「農協改革の着実な推進」を掲げ、19年5月末までに成果を上げるように改革の進捗状況をフォローしていくことを盛り込んだ。政府や規制改革推進会議の過剰介入を許さず、JAグループの自己改革を尊重した対応が求められる。

18年産米のJAグループの方針を決定

JA全中は、国による米の生産数量目標の配分がなくなる18年産以降も需要に応じた生産を徹底するため、農業再生協議会に積極的に参画することをJAグループの基本方針とした。生産者に、事前契約や実需者への直接販売といったニーズに沿った生産・取引を提案する。

日EU・EPAの対話集會に500人が参加

JA全中は、日本とEUのEPA交渉が大詰めを迎えるといわれるなか、与党の幹部議員を招いた対話集會を開き、農家やJA組合長など500人が出席した。JA全中の奥野会長は、「工業製品を売り込むために農業を犠牲にするパターンはもうやめてほしい」と強調した。

レク伊吹の動き

カドミウム吸収抑制 湛水管理実施調査開催

県、市、土地改良区で構成する農産物安全対策協議会による湛水管理実施調査の開催を出穂期に合わせて実施。今年は6月の雨量が少なく強い中干しによる湛水管理への影響が懸念される中、収穫間際までの湛水管理を啓発し、玄米中カドミウムの吸収を抑える。

お知らせ
9月訪問
について

9月はカントリーに勤務しております。
定期訪問にお伺いできませんので、予めご了承ください。



お問い合わせ等ございましたら、お気軽にケータイにご連絡下さい。